

平成8年度第2回ORセミナー

## 経営効率性の新しい評価法—DEA（包絡分析法）

### セミナーのねらいと参加のおすすめ

事業体やシステムの効率性を評価する方法として、DEA（包絡分析法）はその直観的解釈の容易さ、改善方法の定量的提案が可能なことから最近、注目を集めているが、わが国ではまだ十分に利用されているとはいえない。本セミナーではまずDEA法とはどんな方法かを紹介するとともによく知られている多変量解析法がその中でどのように応用され得るかを説明する。そして今後の幅広い応用を期待して、色々な応用の仕方を紹介する。

日時 1997年1月24日（金）9:30～16:30

場所 東京ガス(株)本社ビル13階1308会議室（〒105 港区海岸1-5-20）

オーガナイザー 上田 徹（成蹊大学）

### プログラム

時間	題目（あらまし）	講師
9:30～10:50	<b>DEA法の概要</b> DEA法はどのようにして生まれ、どのように発展したかを述べる。DEA法の基本的な考え方を示し、各種モデルの紹介をする。DEA法の適用にあたってはどのモデルを適用すればよいか、負の入出力はどうするか、扱う変数の単位の違いをどう扱えばよいかなど多くの留意点があり、それらについて平易に解説する。	刀根 薫 （埼玉大学）
10:50～11:50	<b>企業体評価のための多変量解析法の応用</b> DEA法は優れ者を見付ける方法であり、回帰分析は平均水準を見付ける方法であるが、それらの特徴を反映した企業体評価法についてまず論じる。それから入出力数が多い場合に入出力を統合して入出力数を減らす方法として主成分分析法や正準相関分析法を適用した場合の問題点についても述べる。	上田 徹 （成蹊大学）
13:10～14:10	<b>DEA関連手法を用いた事業体分析の事例研究</b> 企業において生じる種々の評価にDEAを用いる場合に、実際の適用上の問題が種々生じる。本セミナーではDEA適用上、生じる諸問題を解決する方法を提案し、実際に電力会社やパブリックセンターの分析を行った事例分析を報告する。手法としては報告者等によって新しく開発された Inverted DEA や企業間相互評価法を解説する。	山田 善靖 （東京理科大学）
14:25～15:25	<b>債券市場におけるDEA分析</b> ポートフォリオなどファイナンスの分野への応用事例について解説し、投資資産が取り引きされる市場に対してもDEA分析の枠組みにおいて評価できることを示す。具体的には、各債券の市場価格を投入と見なし、それらがもたらす将来のキャッシュ・フローを産出として取り扱う。主問題では裁定ポートフォリオを特定化し、双対問題では金利の期間構造を観察できるモデルを紹介する。	清水 康司 （青山学院大学）
15:25～16:30	<b>意思決定手法としてのDEAの応用</b> DEA法がどのような部門で利用されてきたかについて米国や日本でのさまざまな研究事例を中心に紹介し、そこにどのような問題点があるかについて解説する。また、実際の経営の場での意思決定のために、DEA法を適用する際のいくつかのヒントを提供する。そのうえで、今後どのような応用が期待できるかなどについても述べる。	住田 友文 （電気通信大学）

主催 （社）日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛 （依頼中）経営情報学会、日本経営工学会、日本品質管理学会、日本社会情報学会、  
日本インダストリアル・エンジニアリング協会、日本科学技術連盟

— 参加要領 —

参加費：正・賛助会員 25,000円、学生会員 5,000円、非会員 30,000円

(協賛学協会の会員は正会員に同じ)

申込み方法：参加申込書に必要事項をご記入の上、学会事務局宛お送り下さい。

申込期限：平成9年1月14日(火)

申込・問合せ先：社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

(〒113 文京区弥生2-4-16 学会センタービル TEL.03(3815)3351 FAX.03(3815)3352)

会場：東京ガス(株)本社会議室

〒105 港区海岸1-5-20

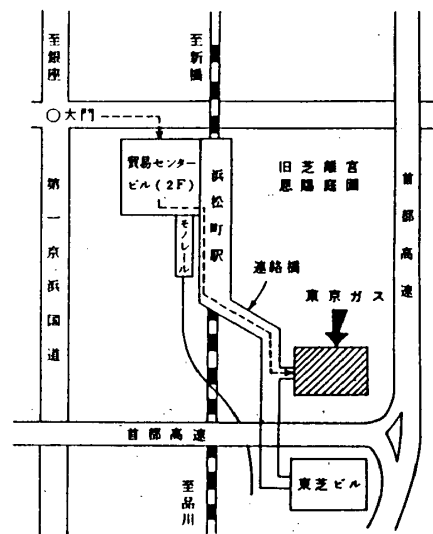
TEL.03(3433)2111

JR浜松町(橋上)駅(南口)下車徒歩5分

地下鉄都営浅草線大門駅下車徒歩10分

(貿易センタービル2F通過)

会場案内図



キリトリ

平成 年 月 日

ORセミナー参加申込書

参加者氏名 \_\_\_\_\_ 印〔正・賛・学・非〕OR学会会員番号 \_\_\_\_\_  
 (非会員の方で協賛学会・協会の会員の方は、学会名または協会名を下記にご記入ください。)

所属学会・協会名 \_\_\_\_\_

勤務先(学生は所属大学名) \_\_\_\_\_

所在地(〒 \_\_\_\_\_) \_\_\_\_\_

TEL. \_\_\_\_\_

連絡先 \_\_\_\_\_

TEL. \_\_\_\_\_

参加費	{	25,000 円	×	名	=	円也	払込日 平成 年 月 日
		30,000 円	×	名	=	円也	
		5,000 円	×	名	=	円也	
				合 計		円也	

参加者が複数の場合はお手数ながら別紙リストを併せてお送り下さい。  
 次のいずれかの方法でご送金下さい。いずれの場合も本申込書が必要です。

- 現金書留 参加費と参加申込書を同封のこと
- 銀行振込
 

東京三菱銀行	千駄木支店	普通預金口座	0011000
住友銀行	白山支店	普通預金口座	697496
第一勧業銀行	根津支店	普通預金口座	1530801
- 郵便振替 東京 00190-6-79492
- 上記2,3の口座名 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会